

柱3 心豊かに学び、文化を創り出すまち

◆ 施策15 未来を担う人材が育つまち ◆

25 他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を 共に育む教育を進めます

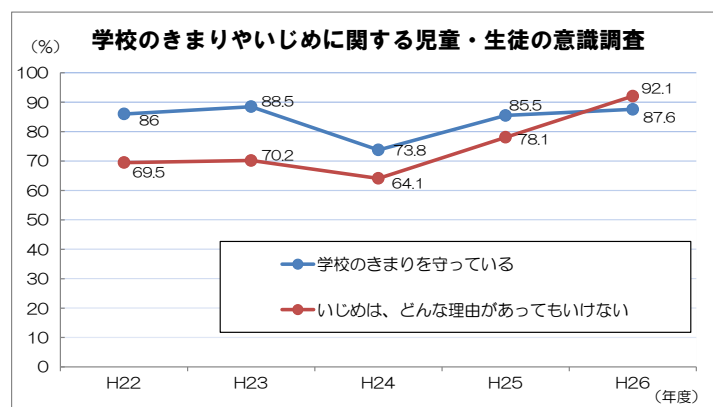
個に応じた指導の充実を図るとともに、多様な人間関係の中で、他者を思いやり、相手の立場に立って考えられる力を育むため、心の教育を充実します。

現状と課題

- 少子化、核家族化、地域コミュニティの衰退、家族間の会話の減少、情報機器の普及によるネット社会の急速な進展等、子どもを取り巻く社会の急激な変化により、人と人との関わりは希薄になり、人を思いやる心や社会のルールを守る事が身に付かなくなっています。
- いじめ問題に対して総合的な対策を講じていますが、依然いじめはなくなっていない。
- 特別な支援が必要な子どもへの支援の充実と、障害のある人へ十分配慮した、「共生」の理念を育む教育が求められています。

課題解決の方向性

- 人との関わりをたくさん経験させ、相手の気持ちがわかり、思いやりの心や規範意識を醸成する心の教育を充実します。特に、いじめ問題に対しては、積極的に取り組み、「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけない」と思うように子どもの意識を高めます。
- 障害の有無にかかわらず、誰もが成長できるよう、適切な支援体制や教育環境を整備し、「共生」理念に基づいた、個に応じたきめ細かな教育を推進します。



資料：子ども部「千代田区達成度調査（小4～中3）」

めざすべき 10 年後の姿

- 多様な人と関わる経験や自然体験、社会体験等から学んだ事を活かし、思いやりの心や規範意識のある人材が育っている。
- 特別な支援が必要な子どもに適切な支援体制が整備され、誰に対しても分け隔てなく、互いの立場を尊重した、共生の理念を持った人材が育っている。



10 年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
心の教育の推進	家庭や地域と協働しながら、道徳教育を中心に捉え、子どもに他者を思いやる心や規範意識を育む心の教育を推進します。
多様な体験活動の充実	良好な人間関係を築くことができるよう、地域の人々やその道のスペシャリスト等、様々な人と関わる体験活動を実施します。また、自然を大切にする心を育み、自然とふれあう体験を通じて個々の成長を図ります。
子どものいじめ防止対策	「いじめ防止のための基本方針」を基に、スクール・カウンセラー等の専門家の派遣や 24 時間体制の相談窓口の設置等のいじめ防止対策を推進し、学校・家庭・地域がともに手を携えて、子どもがいじめのない生活を送れるようにします。
個に応じた指導の充実	特別な支援を必要とする子どもに、個に応じた支援を行うことができるよう、支援員の配置や校内での通級指導※を実施するとともに、特別な支援を必要とする子どもと他の子どもとの交流活動などを実施し、「共生」の理念を育む教育の充実を図ります。

※校内での通級指導とは、小・中学校の通常の学級に在籍している特別な支援を要する児童・生徒に対して、教科等の指導は通常の学級で行いつつ、必要に応じて、校内に設置したスペースで指導を行うという特別支援教育の一つの形態です。

施策の目標の実現に関する指標

指標	現状値 (調査年度)	目標値		数値取得方法
		平成 31 年度	平成 36 年度	
「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答する子どもの割合	92% (平成 26 年度)	93%	95%	区調査 (実態調査)
校内通級指導に対する保護者満足度(4点満点)	3.4 点 (平成 25 年度)	3.5 点	3.6 点	区調査 (実態調査)
学習・生活支援員配置に対する保護者満足度(4点満点)	3.5 点 (平成 25 年度)	3.6 点	3.6 点	区調査 (実態調査)

柱3 心豊かに学び、文化を創り出すまち

◆ 施策15 未来を担う人材が育つまち ◆

26 グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます

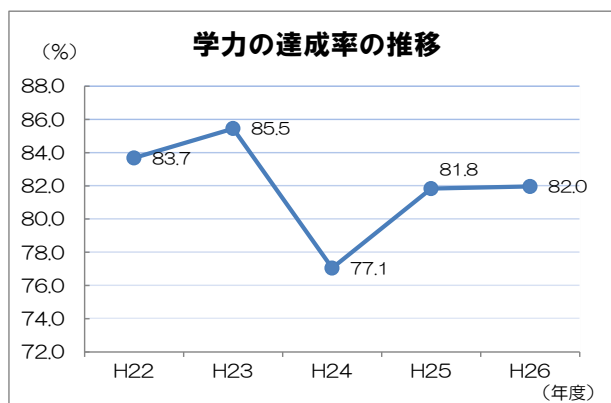
社会の変革に対応するため、国際教育の一層の推進に努め、学力・体力の向上を図るとともに、各学校の実情を活かした特色ある教育の充実を図ります。

現状と課題

- 確かな学力の定着に向けて、区独自に配置した講師を活用した少人数学習など、きめ細かな指導の充実を図ってきました。子ども自身が目標を定め自己実現するため、課題に主体的に対応する力の育成が不可欠であり、0～18歳の成長を見通した連携教育を行う必要があります。
- 東京都の体力・運動能力調査結果によると、千代田区の子どもの体力は東京都の平均を下回り、毎年下がっている状況であり、体力の向上が求められています。
- 国際教育の推進にあたり、外国人講師を各校（園）へ派遣するとともに、中学生を対象に海外交流事業を実施しています。国際社会の進展に伴い、多様な国の人と円滑にコミュニケーションを図り、国内外で活躍する人材の育成が求められています。

課題解決の方向性

- 子どもの学力の達成状況を把握するとともに、きめ細かな指導を充実させ、言語、数理的処理、情報活用スキルを高めます。保・幼・小・中・中等教育学校が連携して、主体的、創造的、協働的に問題解決できる思考力と実践力を育成する教育を推進します。
- 子どもの健康的な生活習慣と運動習慣の形成や定着、体力向上のため、専門家を派遣し、高い専門性に基づいた指導・助言を行います。
- 子どもが外国人と接する時間を増やし、英語によるコミュニケーション力を高め、国内外で外国人と主体的に関わる力を育みます。また、海外交流事業を拡大し、より多くの子どもが異文化体験の機会を増やすとともに、自国文化理解を深める教育を推進します。
- 日本の伝統的な文化を学習する機会を充実させ、日本の魅力を伝えられる力を育成します。



※達成率：おおむね満足できる理解度（目標値）を上回った子どもの人数の割合

資料：子ども部「千代田区達成度調査（小4～中3）」

めざすべき 10 年後の姿

- 基礎的な学力と体力を有し、困難な課題にあっても、協働しながら、主体的・創造的に、問題解決できる人材が育っている。
- 国内外で外国人等に対して、積極的にコミュニケーションを図り、日本の魅力を紹介することができる共生の理念のある人材が育っている。



10 年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
きめ細かな指導の推進	千代田区達成度調査の結果分析に基づき、指導法改善を行い、区独自に配置した講師を活用した習熟度別少人数学習指導を推進し、基礎的な学力の確実な習得をめざします。また、他者と協働しながら、主体的・創造的に問題解決を図る思考力と実践力を育む教育を推進します。さらに、情報化社会に対応するため、ICT教育や情報モラル教育の充実を図ります。
健康・食育・体力向上プランの推進	子どもの健康的な生活習慣の形成や定着、体力向上のため、専門家を派遣し、高い専門性に基づいた講義・演習等を行うとともに個別に助言を行い、子どもの興味・関心を高め、運動習慣の形成や定着、体力向上を図ります。
国際教育の推進	区立保育園・幼稚園・こども園・小・中学校に外国人講師を派遣するなどし、英語によるコミュニケーション力を高め、外国人と主体的に関わる力を育むとともに、異文化に対する理解を深める教育を推進します。
伝統文化理解教育の推進	千代田区に伝承されている文化を学ぶ機会を充実させ、日本の伝統文化に誇りが持てる教育を推進します。

施策の目標の実現に関する指標

指標	現状値 (調査年度)	目標値		数値取得方法
		平成 31 年度	平成 36 年度	
千代田区達成度調査で定めた各教科の目標値を超えた子どもの割合	82% (平成 26 年度)	85%	85%	区調査 (事業実績)
健康・食育・体力向上プランの保護者満足度(4点満点)	3.5 点 (平成 25 年度)	3.6 点	3.8 点	区調査 (実態調査)
幼児・児童国際教育の保護者満足度(4点満点)	3.4 点 (平成 25 年度)	3.5 点	3.5 点	区調査 (実態調査)
中学 3 年までに英検 3 級に合格した生徒の割合	56% (平成 26 年度)	80%	85%	区調査 (事業実績)

柱3 心豊かに学び、文化を創り出すまち

◆ 施策15 未来を担う人材が育つまち ◆

27 児童・生徒が安全にのびのびと 成長できる環境を整えます

児童・生徒が一日の大半を過ごす教育施設を発育状況にあわせて良好な環境に整えるとともに、子どもが安全で健やかに成長できるまちづくりをめざします。

現状と課題

- 改築整備を進めている施設がある一方で、老朽化などにより改築整備や大規模改修が必要となる施設があります。
- 子どもが巻き込まれる事故や事件が発生しており、安心して過ごすことのできる環境の強化が必要とされています。
- 子どもが近所の公園等で自由に遊べる環境が整っておらず、子どもの運動能力の低下が心配されています。

課題解決の方向性

- 教育施設の整備計画を策定し、区民の需要に沿った、計画的な建て替え、大規模改修を実施します。
- 保護者や教員、地域住民等との密接な連携のもと、登下校を中心とした見守り活動を充実し、子どもが安全に過ごすことができるようにします。
- 子どもが外でのびのびと遊ぶことができる環境を整備します。



めざすべき 10 年後の姿

- 施設の計画的な改築整備や大規模改修が進められ、子どもがのびのびと育ち、学び、成長できる施設となっている。
- 家庭、学校、地域が密接に連携・協力し、子どもが安心して過ごせる地域となっている。
- 区だけでなく区民や事業者等の様々な人々が、子どもの成長期における外遊びの必要性や重要性を認識し、その連携・協力のもと、子どもが外でのびのびと遊ぶことのできる環境が整っている。



10 年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
教育施設の整備	九段小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園の改築や和泉小学校・いずみこども園の大規模改修等を行い、多様な学習、保育に対応できる施設とするとともに、防災拠点や地域コミュニティ、省エネや地球環境等に配慮しながら教育環境の整備を図ります。 【100～102 ページ参照】
児童の安全確保の取組み	犯罪から子どもを守り、安全・安心な地域社会をめざすために、子どもの登下校を中心とした見守りパトロールを実施します。また、区立小学校の保護者等の有志、地域社会によるこども110番連絡会の活動を支援します。
子どもの遊び場確保の取組み	公園等に子どもの遊びを見守り、安全管理を行うプレーリーダーを配置し、ボール遊びなどが自由にできる「子どもの遊び場事業」を推進するとともに、公園等に限らず、子どもが安全にのびのびと遊ぶことのできる場所を確保していきます。

施策の目標の実現に関する指標

指標	現状値 (調査年度)	目標値		数値取得方法
		平成 31 年度	平成 36 年度	
「安全・安心なまち」と思う人の割合（再掲）	64% (平成 26 年度)	70%	75%	区調査 (世論調査)

柱3 心豊かに学び、文化を創り出すまち

◆ 施策16 生涯にわたり自主的な学習・スポーツ活動ができるまち ◆

28 区民が自主的に学習活動に取り組み、 また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます

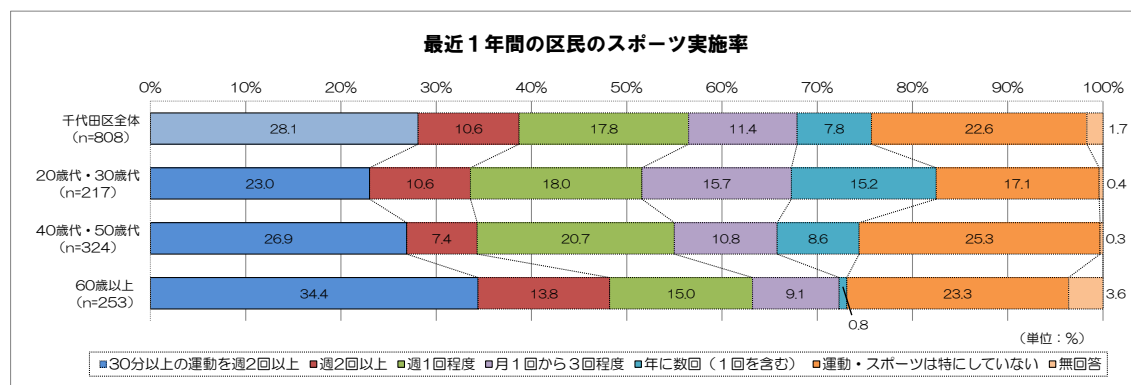
誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。

現状と課題

- 本区には在勤者が多いものの、区民との交流が活発とは言えません。また、近年は区内に転入・在学する区民も増えたことから、そうした区内外の人々や区内在住期間の異なる人々が、「学び」を通して交流する機会が求められています。
- 区民等による生涯学習や文化活動、スポーツ活動は各地域で盛んに展開されているものの、地域間のネットワークの強化が必要であり、また生涯学習に関わっている区民がいる一方で、その関わりを持たない区民も存在します。
- 運動不足による子どもの体力低下、生活習慣病の増加が問題となっています。また、子どもと成人共に“心の問題”も課題となっています。

課題解決の方向性

- 区内外の人々や区内在住期間の異なる人々が、生涯学習活動や文化活動、スポーツ活動の輪を広げるための仕組みづくりをめざしていきます。
- 生涯学習や文化活動、スポーツ活動を取り巻く地域間のネットワークの強化や、生涯学習へのこれまでの関わりの程度が異なる区民間の交流を進めます。
- 『スポーツがはぐくむ、豊かな“こころ”と“からだ”』。スポーツがつなぐ、“ひと”と“地域”』を基本理念とした「改定スポーツ振興基本計画」に基づき、子どもから高齢者まで、すべての区民がスポーツに親しむ環境づくりを進めます。



資料：第41回千代田区民世論調査（平成26年度）

めざすべき 10 年後の姿

- 区民一人ひとりが、多様な学習活動の機会を得て交流を深め、生涯にわたって学びを深めることができ、その成果を活かすことのできる生涯学習社会となっている。
- 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、スポーツへの関心が高まり、区民がスポーツ・運動を通じて、様々な人たちと交流し、健康で生き生きと生活している。



10 年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
(仮称)生涯学習大学の創設	区民が自ら選択・学習していく多様な学習メニューを取り入れた(仮称)生涯学習大学を創設します。
新スポーツセンターの整備	誰もが楽しくスポーツに親しめる多目的な機能を備えた施設を整備します。【100 ページ参照】
講座・講習会の充実	学習・スポーツ活動を始めようとするきっかけとするために、各年代にあわせたテーマの講座・講習会を開催します。
人材育成・派遣制度の充実	コーディネーターやボランティアなど人材バンクの充実を図り、スポーツ活動の指導者として派遣制度を推進していきます。
区立図書館サービスの充実【再掲】	区立図書館5館の特色に応じた蔵書構築を行うとともに、区内の大学図書館、古書店、新刊書店やミュージアムと連携を図り図書館サービスの充実を図ります。

施策の目標の実現に関する指標

指標	現状値 (調査年度)	目標値		数値取得方法
		平成 31 年度	平成 36 年度	
(仮称)生涯学習大学の修了者数	未設置	100 人	150 人	区調査 (事業実績)
週 1 回以上、スポーツ・運動を行う成人の割合	57% (平成 26 年度)	60%	70%	区調査 (世論調査)
生涯学習人材バンク登録者数(スポーツ指導者)	52 人 (平成 25 年度)	100 人	150 人	区調査 (事業実績)

柱3 心豊かに学び、文化を創り出すまち

◆ 施策17 江戸文化を伝えつつ、新たな文化を創り出すまち ◆

29 豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます

本区の持つ豊かな歴史や文化資源、文化・芸術活動について、誰もが気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます。

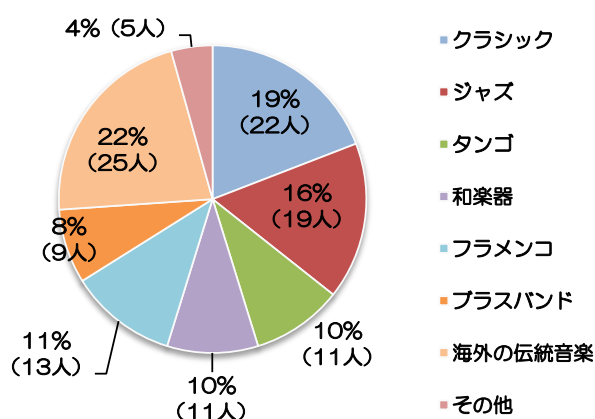
現状と課題

- 本区は江戸開府以来、政治・経済・文化の中心地であり、歴史的、文化的に貴重な文化資源が受け継がれています。これらの積極的な活用を図り、地域の歴史・文化資源をはじめ、文化芸術に触れる機会を増やしていくことが必要です。
- オリンピック・パラリンピック開催年に向けて、豊かな文化資源を内外からの来街者にわかりやすく紹介することが求められています。
- 公共図書館の新しい形として、千代田図書館・日比谷図書文化館が注目され、区立図書館5館の特色を活かした図書館サービスの充実が求められています。

課題解決の方向性

- 今後、本区が東京・日本の中心として世界にアピールしていくために、歴史・文化資源を再認識し、保存・継承するとともに、発信していきます。
- 文化資源の見える化や文化芸術活動を通じて、様々な人々が本区を訪れ、豊かな歴史・文化資源に触れたり、気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を設けていきます。
- 区内の大学図書館、古書店、新刊書店やミュージアム等の文化施設と連携を図り、区立図書館5館の特色を活かして区民の学習意欲を満たすための支援を行います。

昼休みコンサート来場者アンケート
今後の催し物への希望



資料：地域振興部

めざすべき 10 年後の姿

- 豊かな文化資源を広く紹介できるよう、標柱・説明板等のデザインが刷新され、ICT技術の活用により、内外からの来街者にわかりやすいものになっている。
- 文化芸術の鑑賞や創作への区民参加、文化芸術活動が促進され、区民生活に潤いがもたらされている。
- 図書館サービスが一層充実され、千代田ゲートウェイ（知識の入口）・知の拠点として、活用されている。



10 年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
文化資源の見える化の展開	標柱・説明板等の文化財標識類やガイドマップについて、デザインや表記に統一性を持たせるとともに、多言語表記やICT技術の活用により、わかりやすいものに更新していきます。
文化芸術の秋フェスティバルや文化芸術鑑賞事業の展開	文化芸術活動の成果を発表、交流する場を拡充するとともに、ちよだアーツスクエアなどで身近に芸術に触れる機会を提供します。
区立図書館サービスの充実	区立図書館5館の特色に応じた蔵書構築を行うとともに、区内の大学図書館、古書店、新刊書店やミュージアムと連携を図り図書館サービスの充実を図ります。

施策の目標の実現に関する指標

指標	現状値 (調査年度)	目標値		数値取得方法
		平成 31 年度	平成 36 年度	
標柱・説明板の更新率	0% (平成 26 年度)	100%	—	区調査 (事業実績)
文化芸術事業の参加者数	30,000 人 (平成 25 年度)	32,000 人	34,000 人	区調査 (事業実績)
区立図書館のサービスに満足している利用者の割合	85% (平成 25 年度)	88%	90%	区調査 (実態調査)